

お客さまの「あったらいいな」を超えて、
日常の未来を生みだし続ける。

2025年3月期

決算説明資料

Financial Results for the Fiscal Year Ended March 31, 2025

TODAY'S AGENDA

AGENDA

01

2025年3月期
決算

AGENDA

02

事業別主要計数

AGENDA

03

2026年3月期
業績予想

AGENDA

04

中期経営計画の進捗
と2025年度の戦略

AGENDA

05

APPENDIX

AGENDA

01

2025年3月期決算

2025年3月期 決算のポイント



業績概況

経常収益は連単ともに
増収、過去最高
経常利益は連単ともに減益



国内ATM事業

利用件数は過去最高
第4世代ATMへの
全台入替完了



リテール事業

ローン残高は計画達成、
クレジットカードの会員獲得は
計画未達



海外事業

総利用件数はアジアが牽引して
5億件突破
米国は下期黒字化、赤字縮小

2025年3月期決算

損益状況【連結】

経常収益

セブン・カードサービス（7CE）の
連結子会社化の効果および
セブン銀行単体を主因に**増収**

経常利益

成長投資の継続による
費用増で減益の一方、
7CEの販促費未消化により
計画を上振れて着地

純利益

前期に特別利益「負ののれん発生益」
215億円を計上した反動で**減益**

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
注4) 連結損益の為替レート

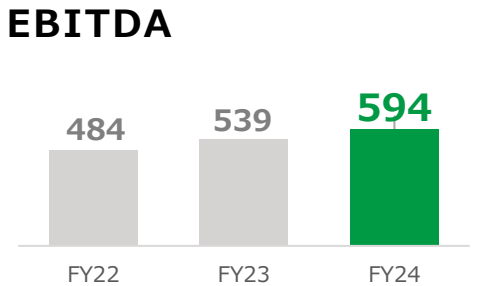
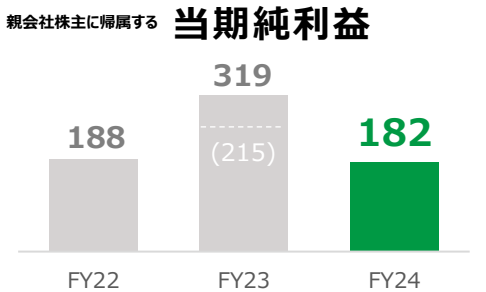
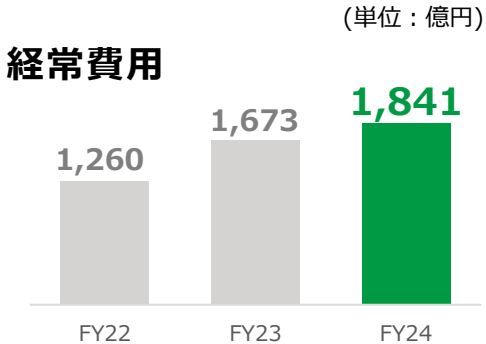
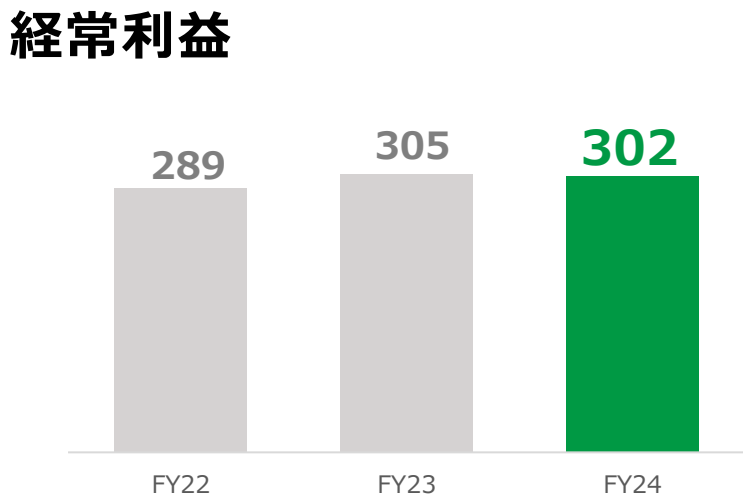
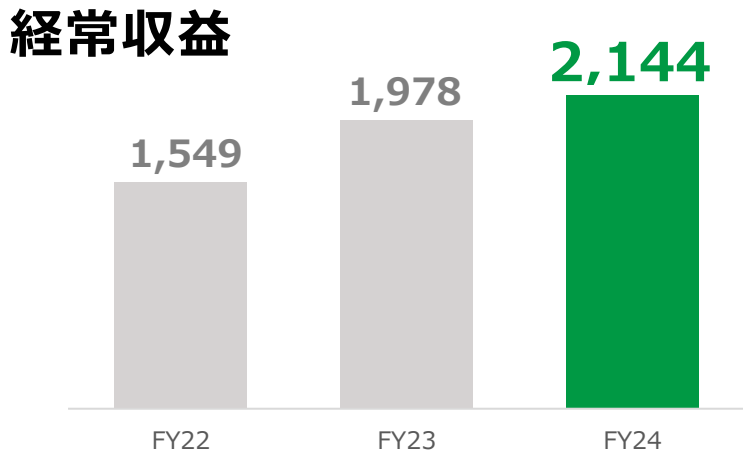
1米ドル： 2024年3月期実績 = 140.67円
2025年3月期計画 = 149.00円
2025年3月期実績 = 151.69円

注5) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

	当期実績 (2025年3月期)	前期実績 (2024年3月期)	前年 同期比	計画比
経常収益	2,144億円	1,978億円	+ 8.3%	△ 0.2%
経常費用	1,841億円	1,673億円	+ 10.0%	△ 1.5%
経常利益	302億円	305億円	△ 0.9%	+ 7.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	182億円	319億円	△ 42.9%	△ 6.6%
EBITDA	594億円	539億円	+ 10.2%	-

2025年3月期決算
業績推移【連結】

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注2) 2023年度の親会社株主に帰属する四半期純利益には、株式会社セブン・カードサービスを連結子会社化したことに伴う特別利益「負ののれん発生益」215億円が含まれております。



2025年3月期決算

損益状況【セブン銀行単体】

経常収益

ATM利用件数の伸長に加え、
カードローンも好調
上期に発生した
出資先株式売却益もあり、
経常収益は過去最高

経常利益

新型ATMの入れ替えによる
減価償却費増加を主因に
費用増加し、減益

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注3) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較
注4) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益＋減価償却費

	当期実績 (2025年3月期)	前期実績 (2024年3月期)	前年 同期比	計画比
経常収益	1,357億円	1,288億円	+5.3%	+1.6%
経常費用	1,084億円	997億円	+8.7%	+2.2%
経常利益	273億円	291億円	△6.1%	△0.7%
当期純利益	176億円	193億円	△8.8%	△7.3%
EBITDA	504億円	477億円	+5.6%	△2.1%

AGENDA

02

事業別主要計数

国内事業(ATM)

国内事業(ATM)

主要計数

ATM利用件数の推移

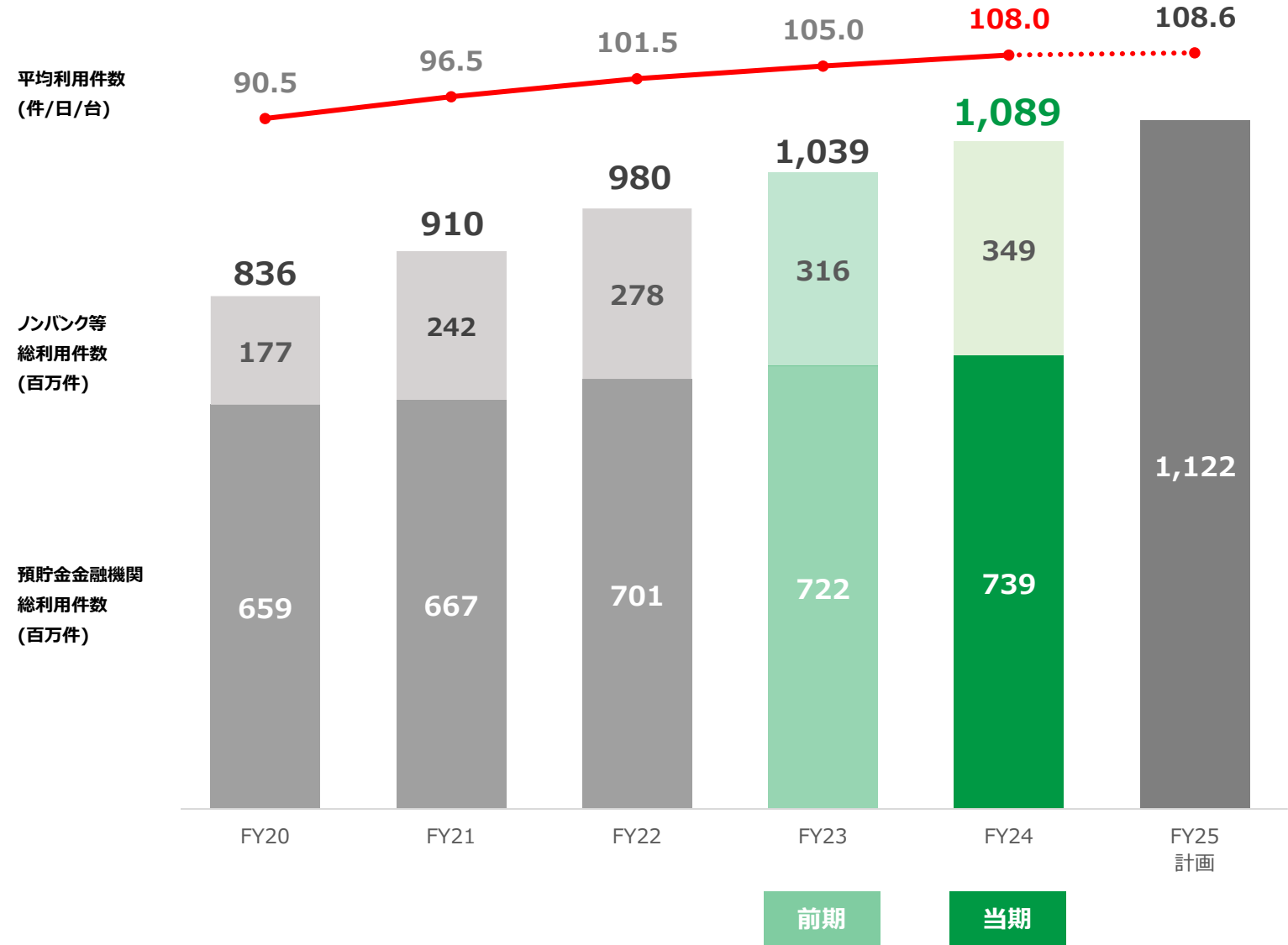
年度総利用件数

+ 50百万件

年度平均利用件数

+ 3.0件

注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) ATM総利用件数、平均利用件数には残高照会、
電子マネーチャージ、暗証番号変更、利用限度額変更等を含まず
注3) 本資料におけるノンバンク等は、証券会社、生命保険会社、
クレジット会社、信販会社、消費者金融会社、
コード決済事業会社等の合計
注4) FY24のATM受入手数料単価106.5円
※ ATM受入手数料単価は、
ATM受入手数料÷(総利用件数－ATM受入手数料収入を
伴わない利用件数<売上金入金等>)で算出



国内事業(ATM)

主要計数

ATM期末台数の推移

ATM期末台数

+ 568台

グループ内 +149台

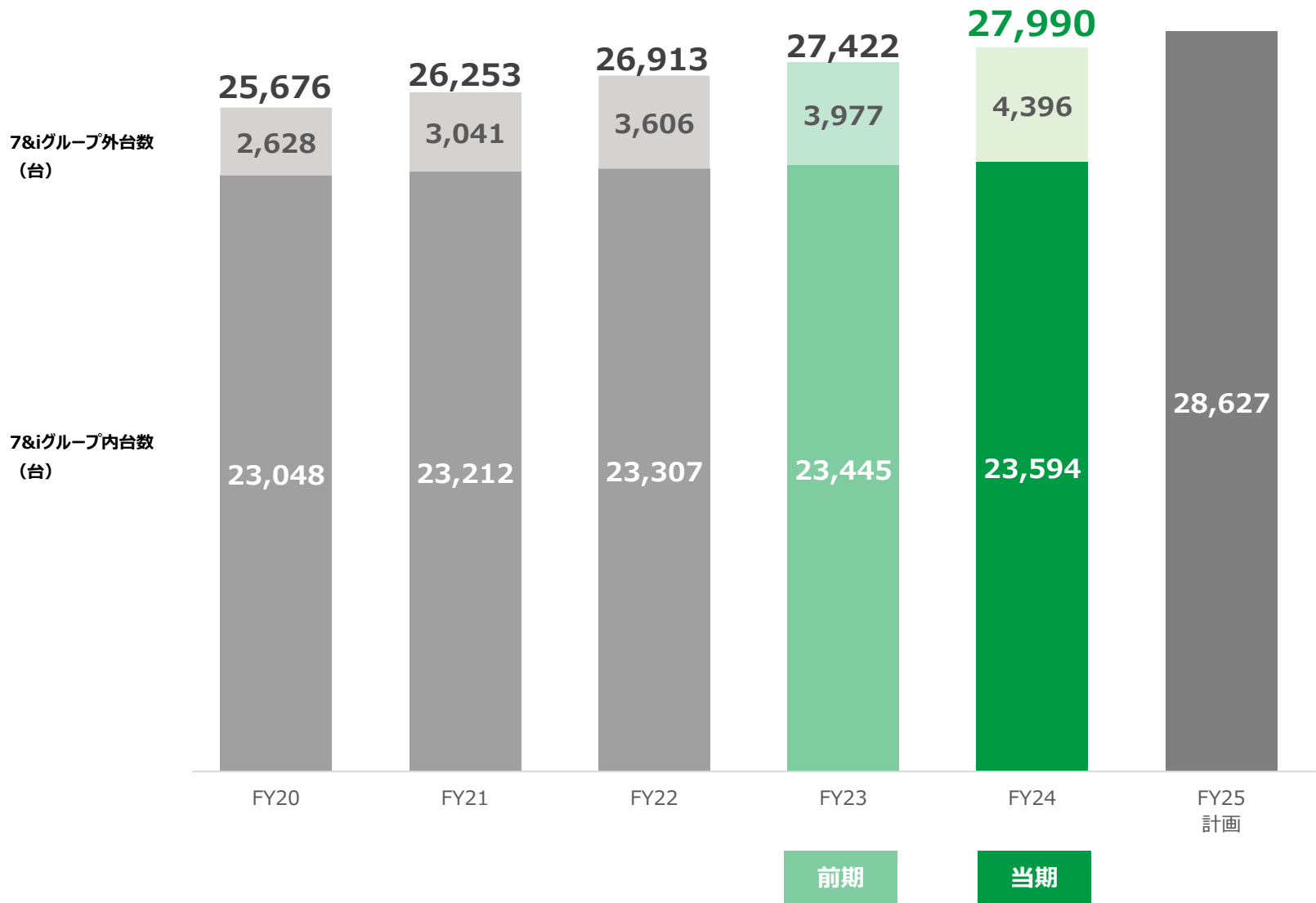
うちセブン-イレブン

22,970台 (+194台)

グループ外 +419台

2025年3月末で

第4世代ATMへの全台入替完了



注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業（リテール）

国内事業(リテール)

主要計数

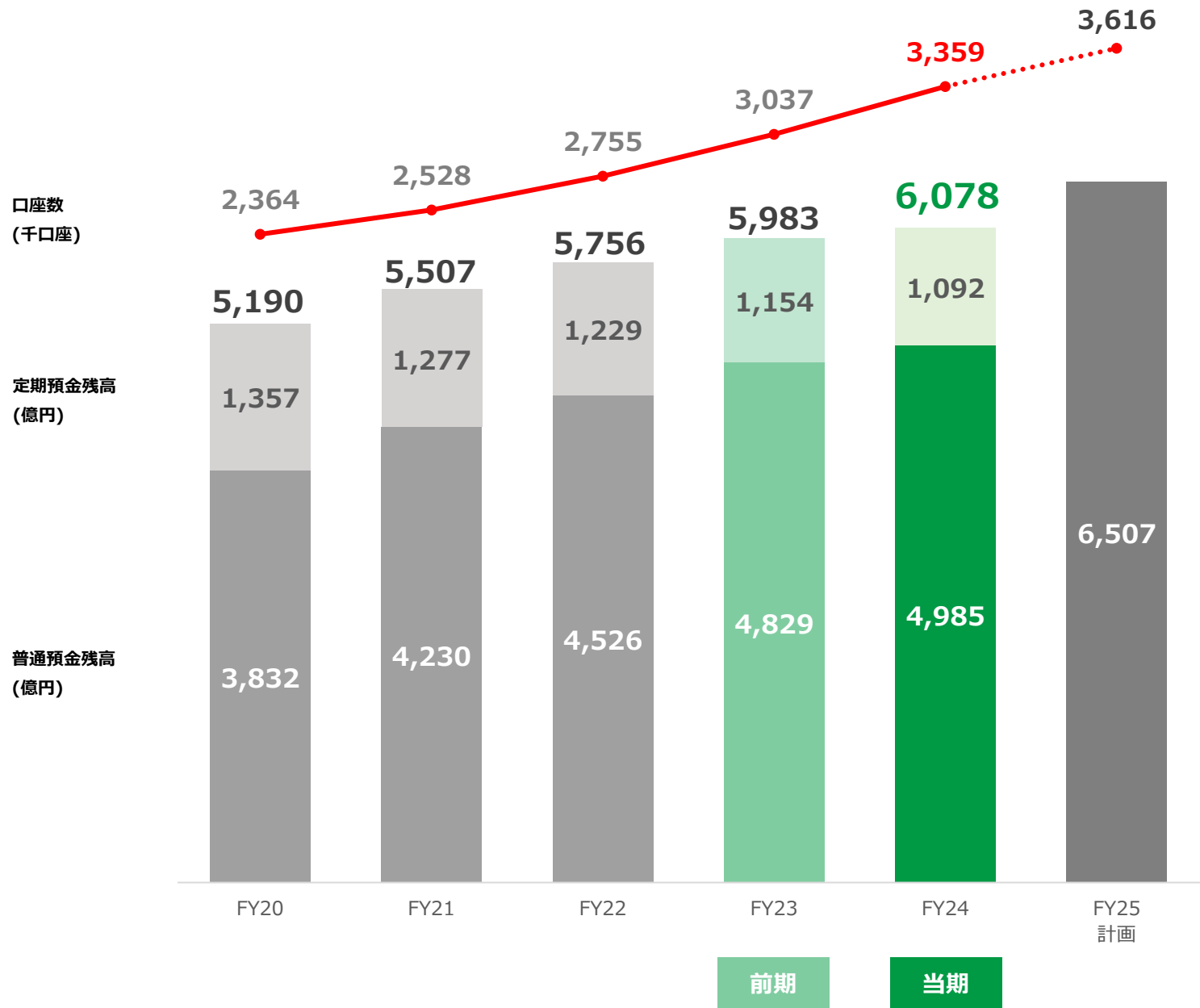
口座数と預金残高の
推移(個人)

口座数

+322千口座

預金残高

+95億円

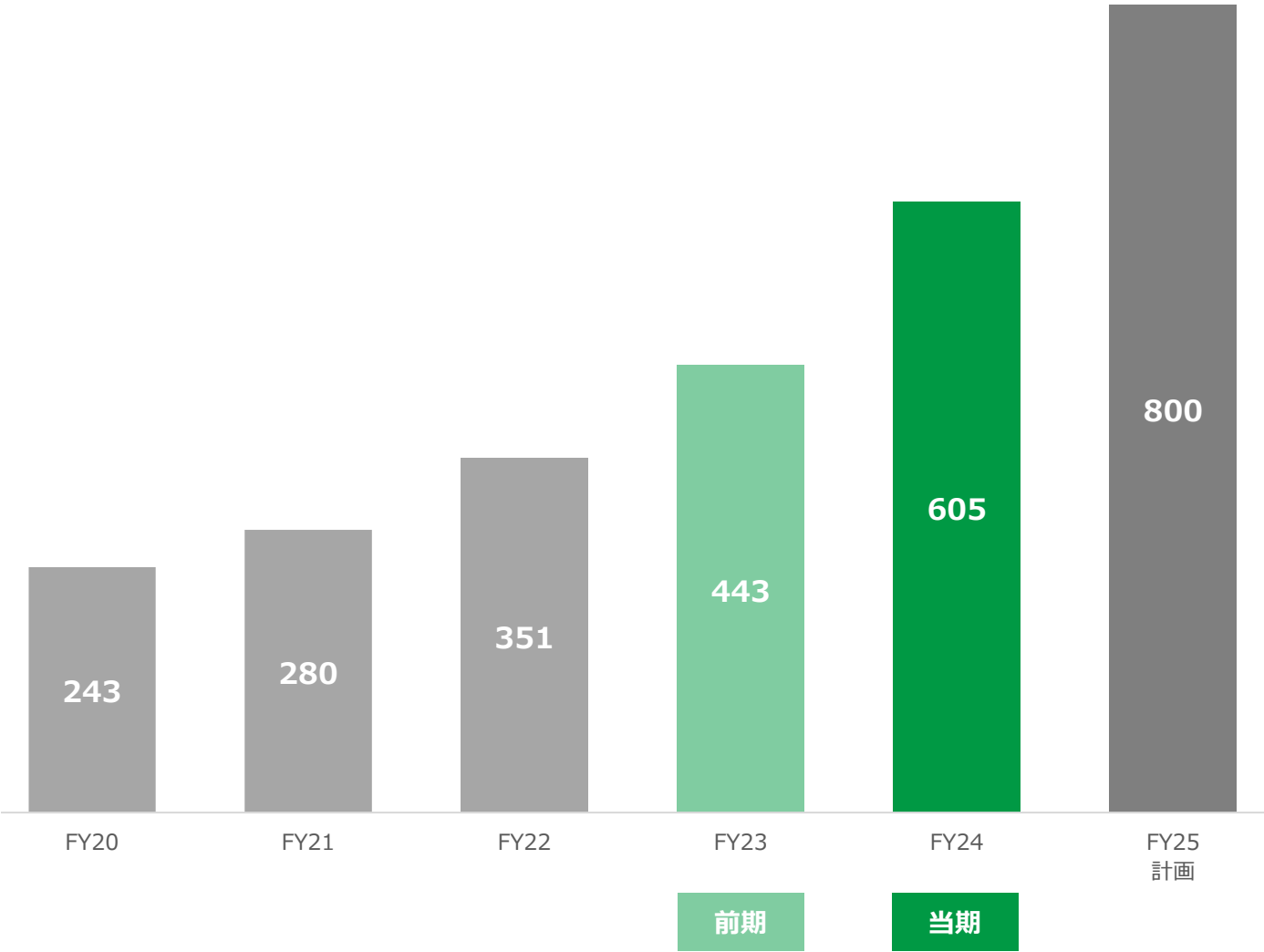


注) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比

国内事業(リテール)
主要計数
個人向けローンサービス

期末残高
+ 162億円

期末残高
(億円)

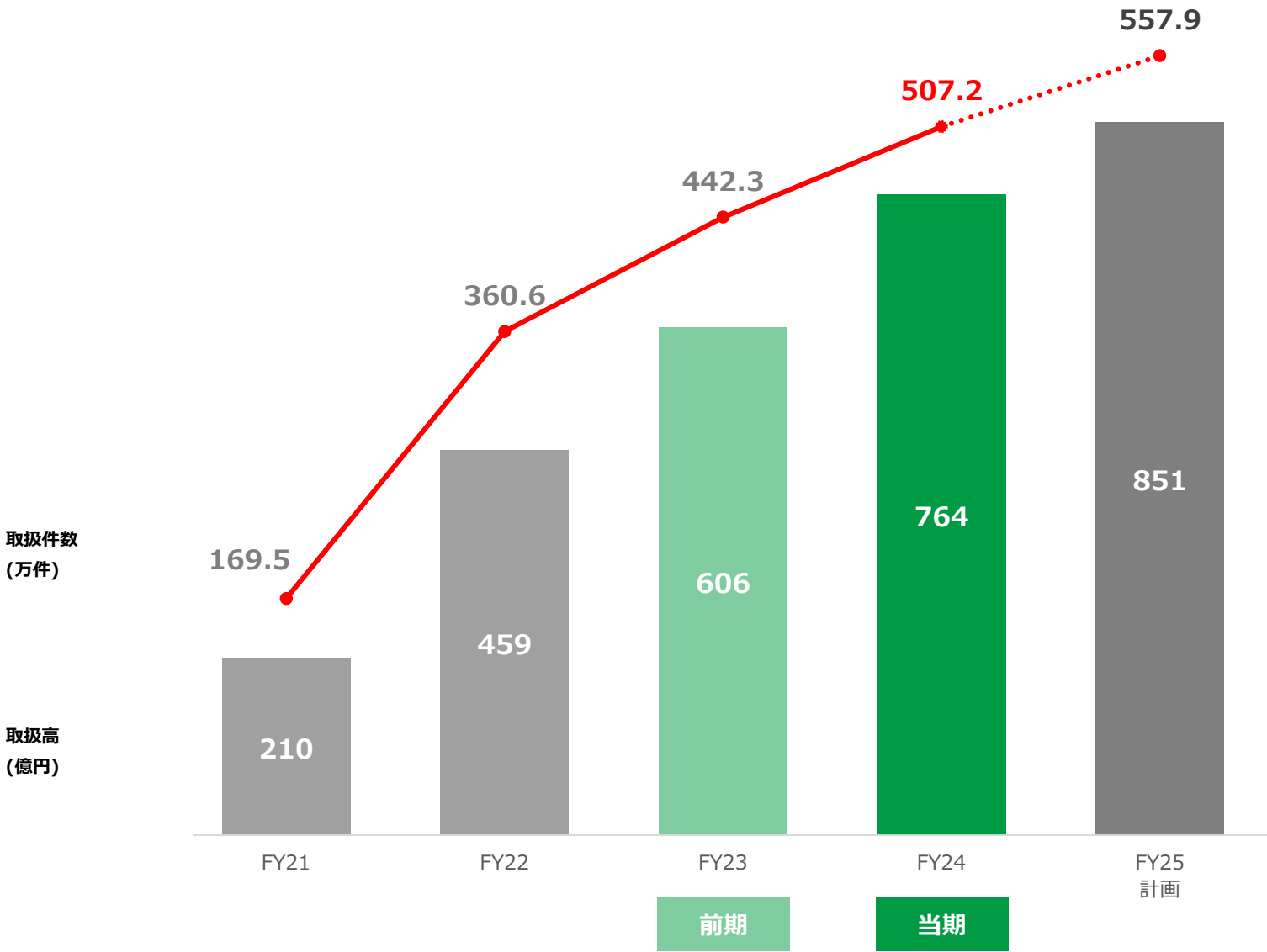


注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) FY22までの期末残高には、Credd Finance提供サービスも含まれております。

国内事業(リテール)
主要計数
セブン銀行
後払いサービス

取扱件数
+ 64.9万件

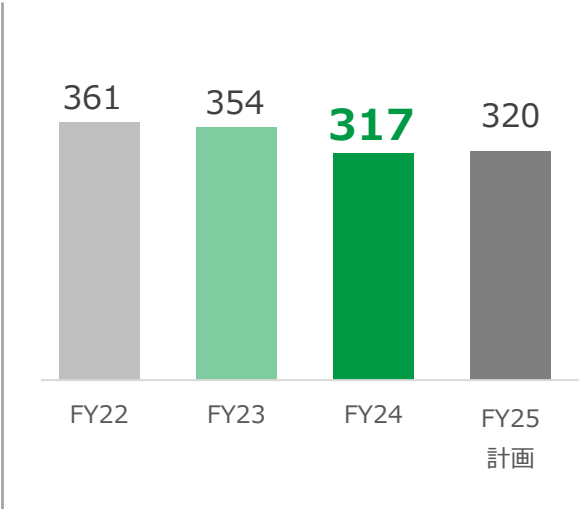
取扱高
+ 158億円



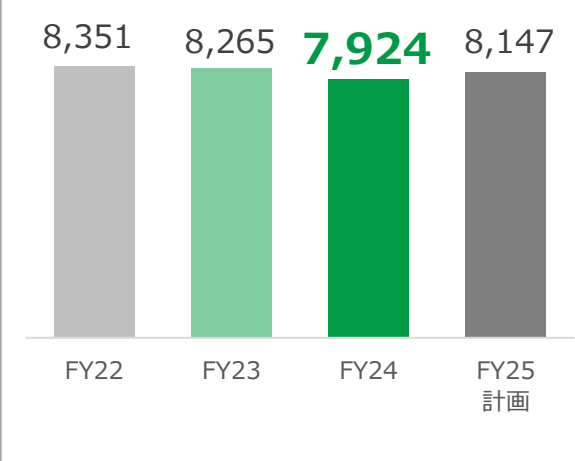
注1) 増減に係るコメント及び数値は全て前年同期比
注2) 2021年9月開始のサービスのため、FY21は3Q、4Qのみ。

セブン・カードサービス
KPI

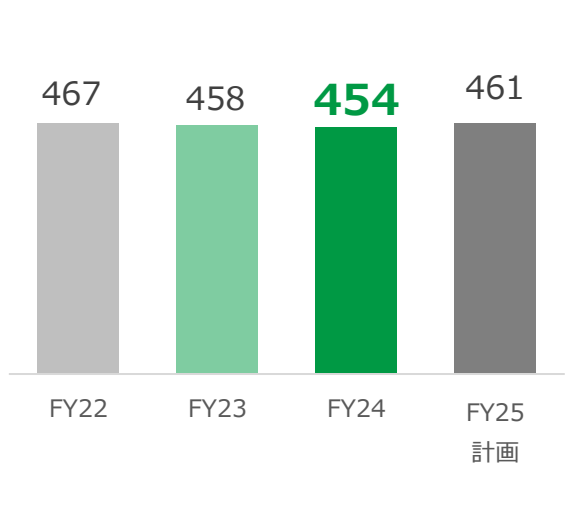
クレジットカード会員数（万人）



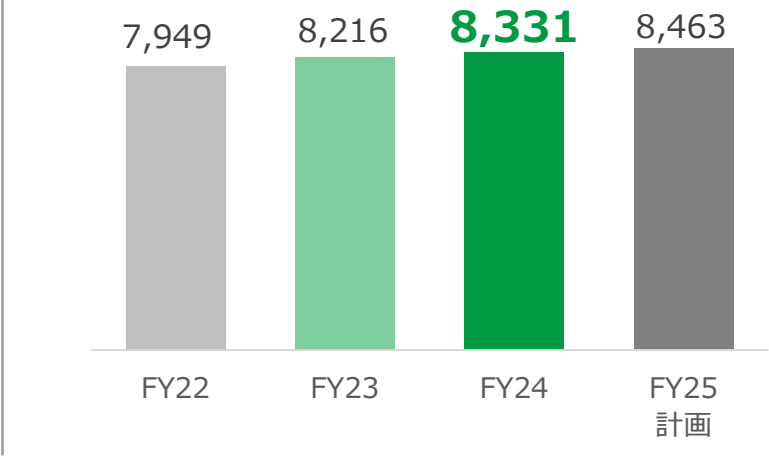
クレジットカード
ショッピング取扱高（億円）



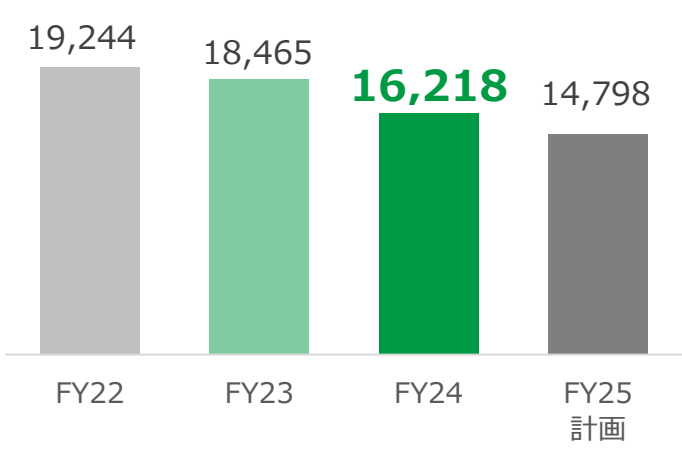
金融商品残高（億円）



電子マネー会員数（万人）



電子マネー取扱高（億円）



注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注2) 7CEはFY22までは2月末決算、FY23から3月末
決算となっておりますが、本スライドのKPIは各年度、
4月～翌年3月までの数字を表示しております

海外事業

海外事業

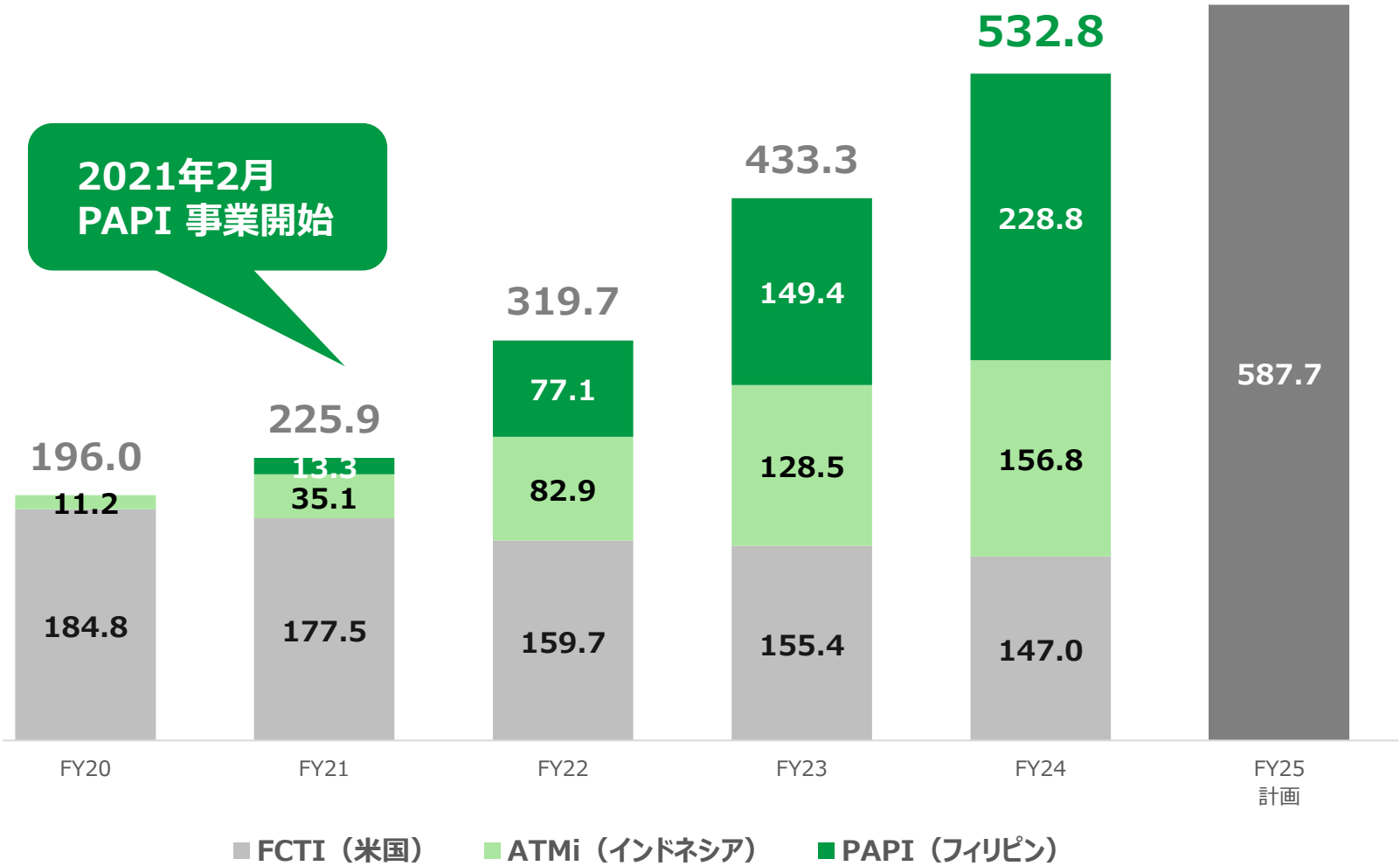
ATM総利用件数の
推移

(単位：百万件)

引続きアジア地域が牽引して
ATM総利用件数が伸長

2025年度も取引の多様化や
マレーシアでの展開拡大で
件数増を見込む

2021年2月
PAPI 事業開始



注1) 米国、インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む。
注2) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
売上金入金を除く。
注3) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)

海外事業
米国

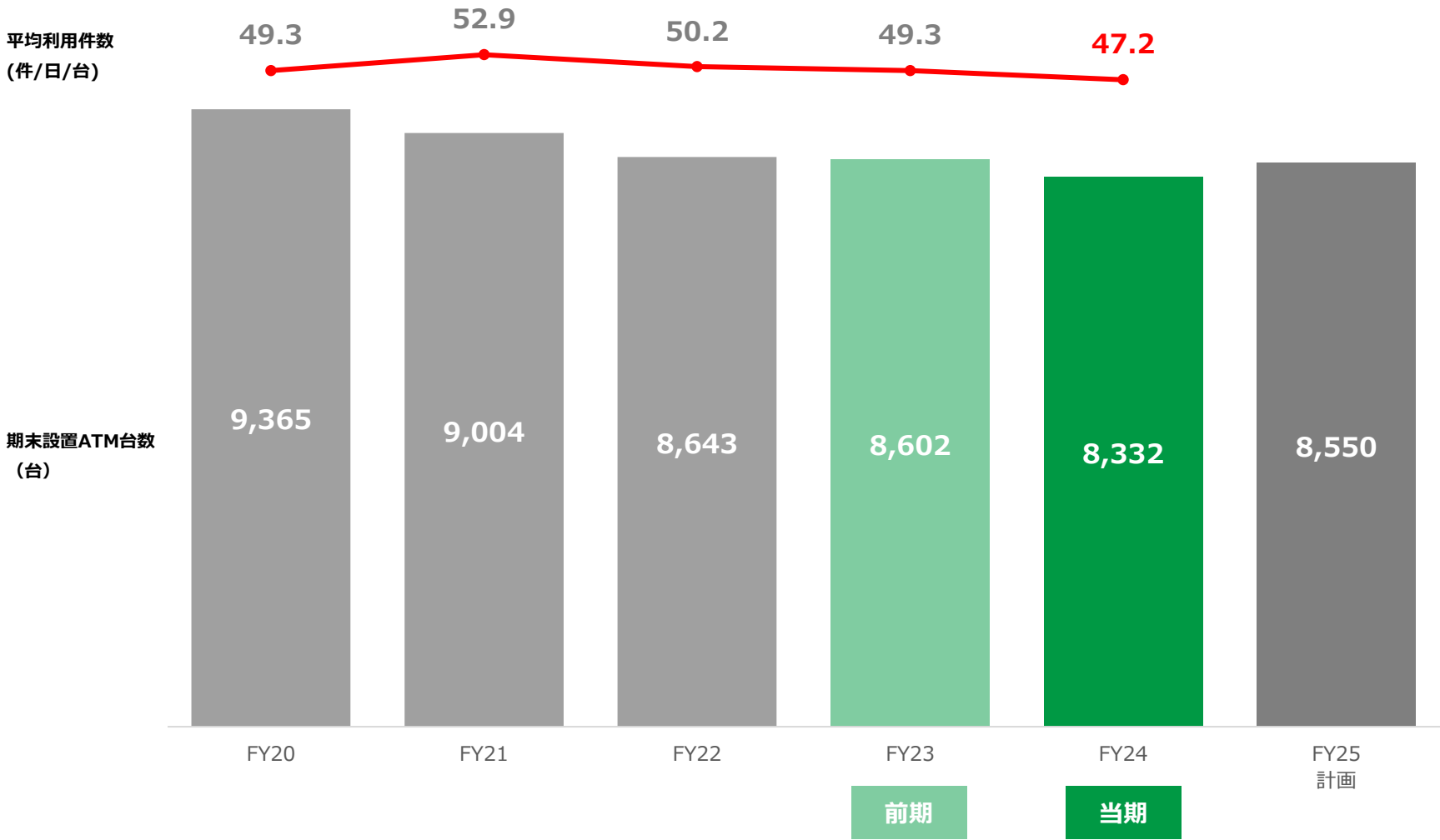
件数は若干弱含みが続くが、
新契約発効により**利益は改善**
2025年度は**通期黒字化を目指す**

FY24経常収益
269.5億円

FY24経常利益
▲4.5億円

25年3月末ATM台数 :
8,390台 (速報値)

注1) 米国のATM利用件数には残高照会を含む
注2) 1Q (1-3月)、2Q (4-6月)、3Q (7-9月)、
4Q (10月-12月)



海外事業

インドネシア

厳しい経済環境の中で、競争激化
2025年度は平均利用件数向上を
最優先課題とし、カードレス取引、
直接提携行の獲得などで
他社との差別化を図る

FY24経常収益

84.4億円

FY24経常利益

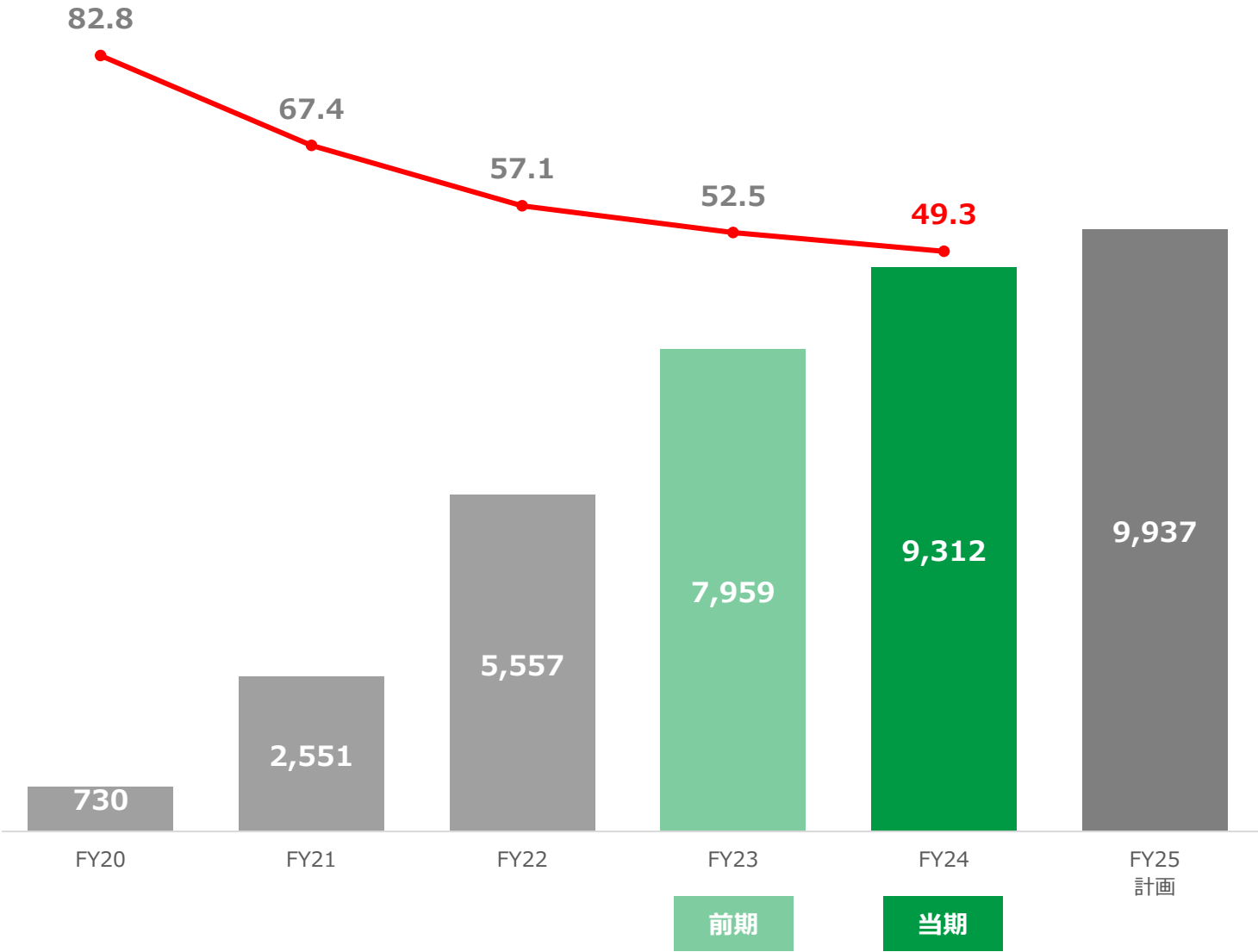
9.3億円

25年3月末ATM台数：
9,283台（速報値）

注1) インドネシアのATM利用件数には残高照会を含む
注2) 1Q（1-3月）、2Q（4-6月）、3Q（7-9月）、
4Q（10月-12月）
注3) 台数の速報値は受託設置を除く

平均利用件数
（件/日/台）

期末設置ATM台数
（台）



海外事業

フィリピン

2024年度は初の通期黒字化を達成
2025年度は更なる利益の上積みを目指す

FY24経常収益

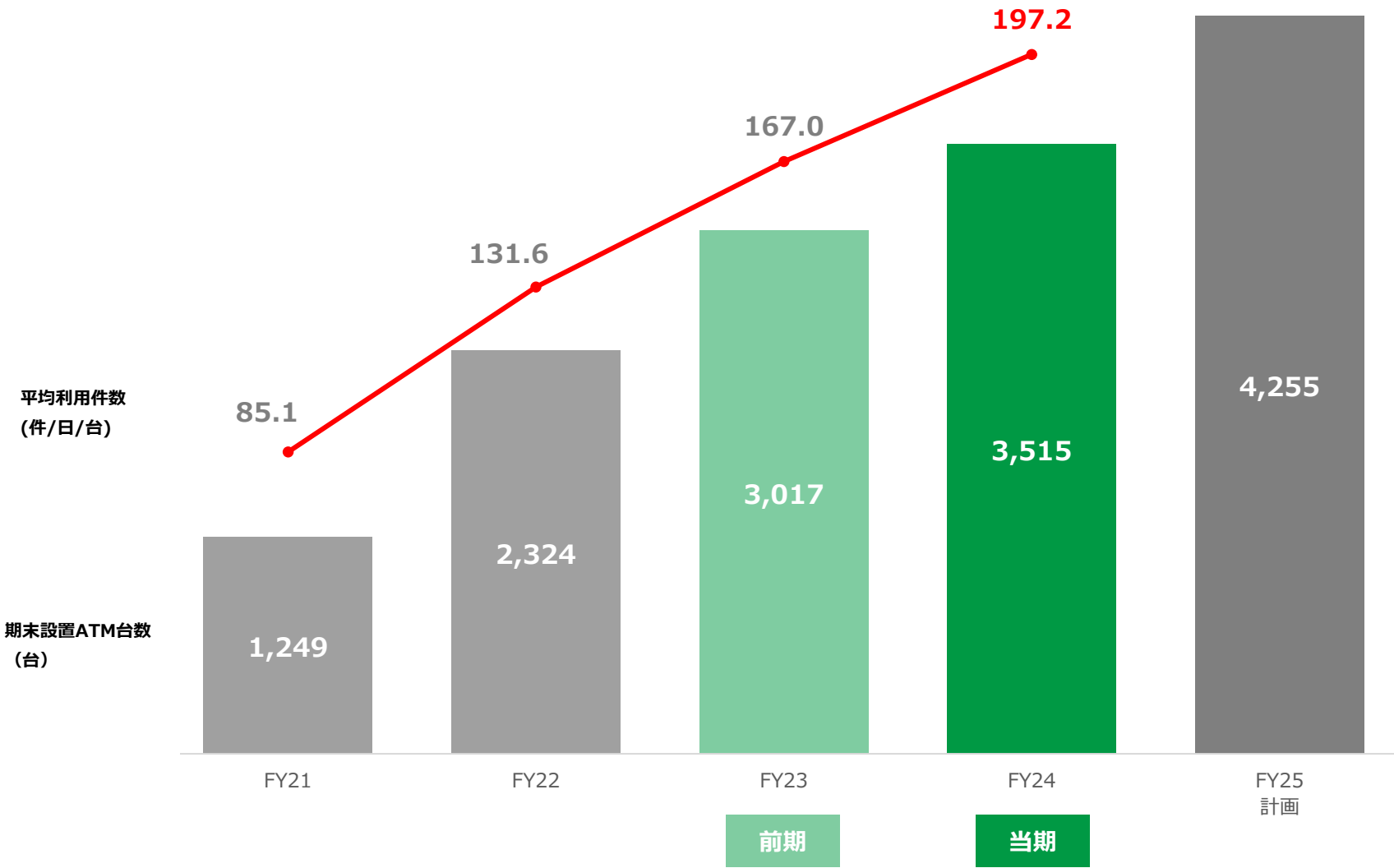
81.5億円

FY24経常利益

3.0億円

25年3月末ATM台数：
3,642台（速報値）

注1) フィリピンのATM利用件数には残高照会を含み、
売上入金を除く
注2) 1Q（1-3月）、2Q（4-6月）、3Q（7-9月）、
4Q（10月-12月）

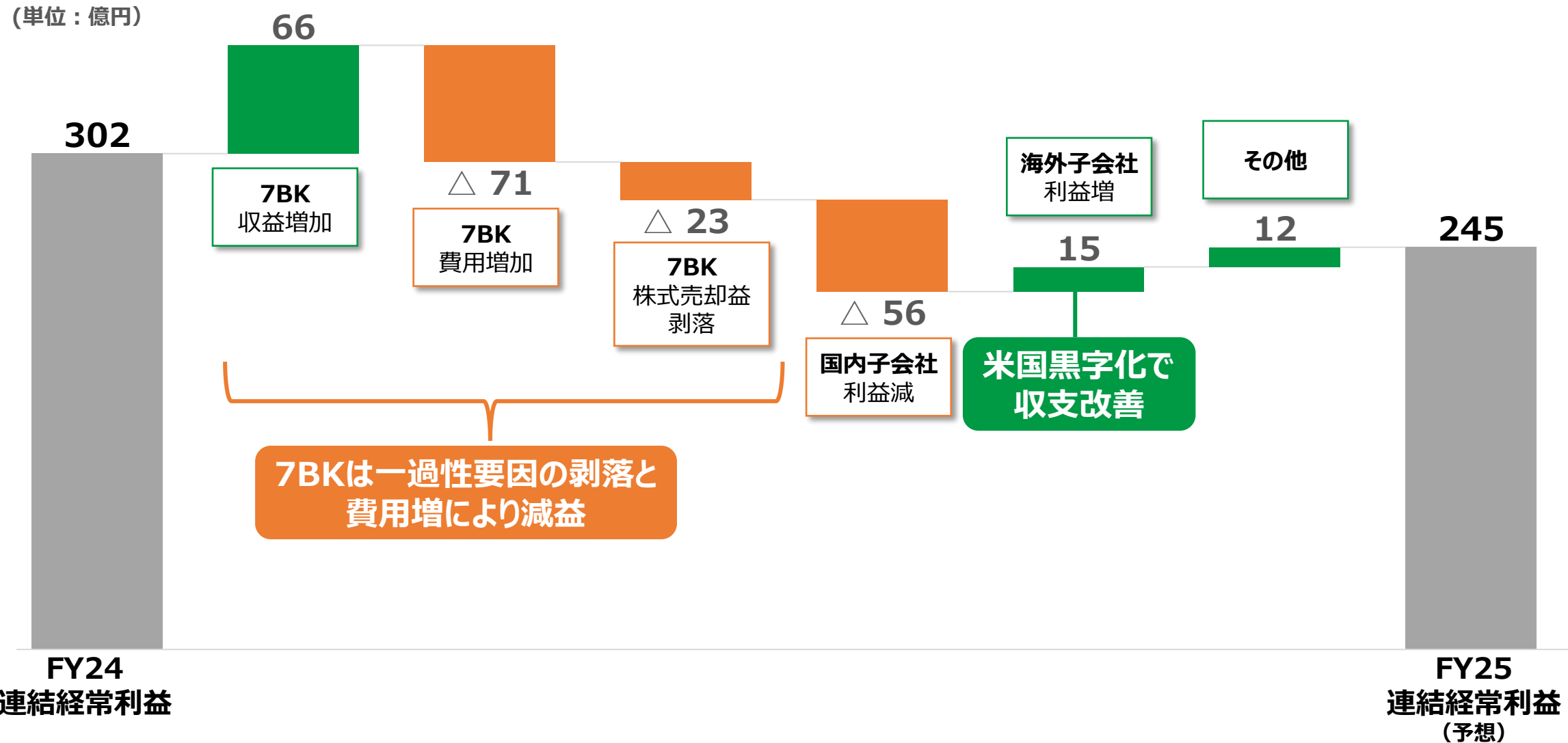


AGENDA

03

2026年3月期 業績予想

セブン銀行単体は堅調、海外事業も収支改善
一方、戦略的な投資による子会社の利益減からFY25は減益の見通し



業績予想【連結】

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	前年比
連結経常収益	2,144億円	2,160億円	+ 0.7%
連結経常費用	1,841億円	1,915億円	+ 4.0%
連結経常利益	302億円	245億円	△ 18.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	182億円	160億円	△ 12.0%

AGENDA

04

中期経営計画の進捗と 2025年度の戦略

収益基盤強化の取り組みを中心に各施策を着実に実行

2021年発表
中期経営計画

「成長戦略」「社会課題解決への貢献」「企業変革」を柱に、第2の成長を具体化させる

成長戦略

現金プラットフォームからATM+への進化



新型・第4世代ATMを

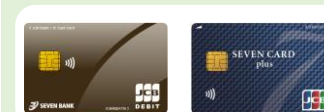
全国28,000台以上設置

セブン銀行ATMの独自仕様をフルに活用した

「+ Connect」などの新機能・サービスで業界をリード

強みを活かしATMに次ぐ成長領域を拡大（事業の多角化）

リテール事業



法人事業



海外事業



事業ポートフォリオの多角化を推進

社会課題解決への貢献



2024年に5つの「**重点課題**」を再策定
グループ一丸となって**社会課題解決をさらに加速**

企業変革

社内活性化



ビジネスモデル・業務プロセス変革

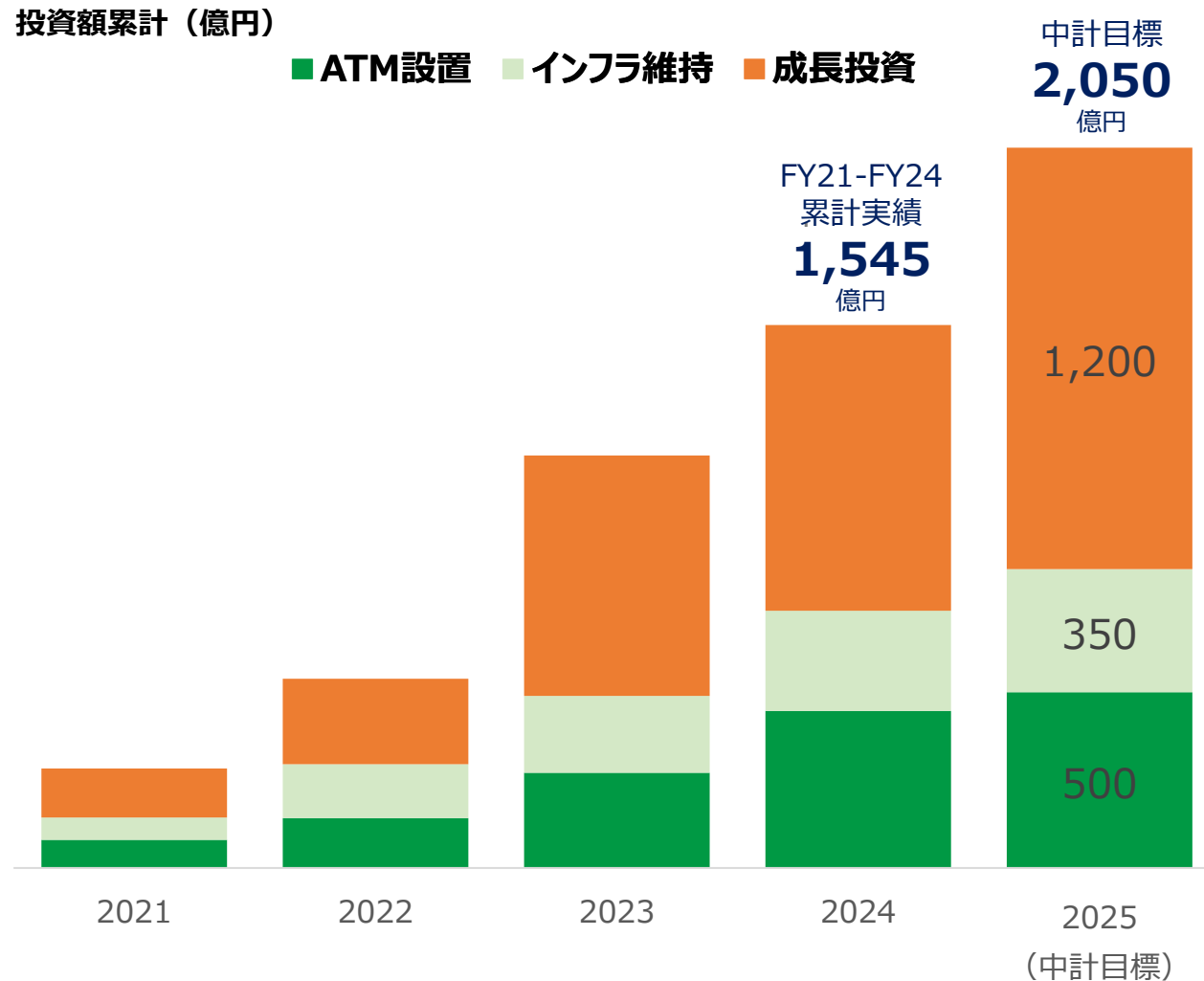


社員も会社もともに成長していく組織づくりで
イノベーションを促進

中期経営計画に基づき、投資は成長投資を中心に拡大

国内外の事業拡大への投資に加え、企業変革推進にも投資を継続

中期経営計画の投資・出資累計額推移



成長投資の内訳

国内成長領域への投資 77%

- ✓ +Connectを中心としたATMの新サービス
- ✓ セブン・カードサービスの連結子会社化

海外事業への投資 14%

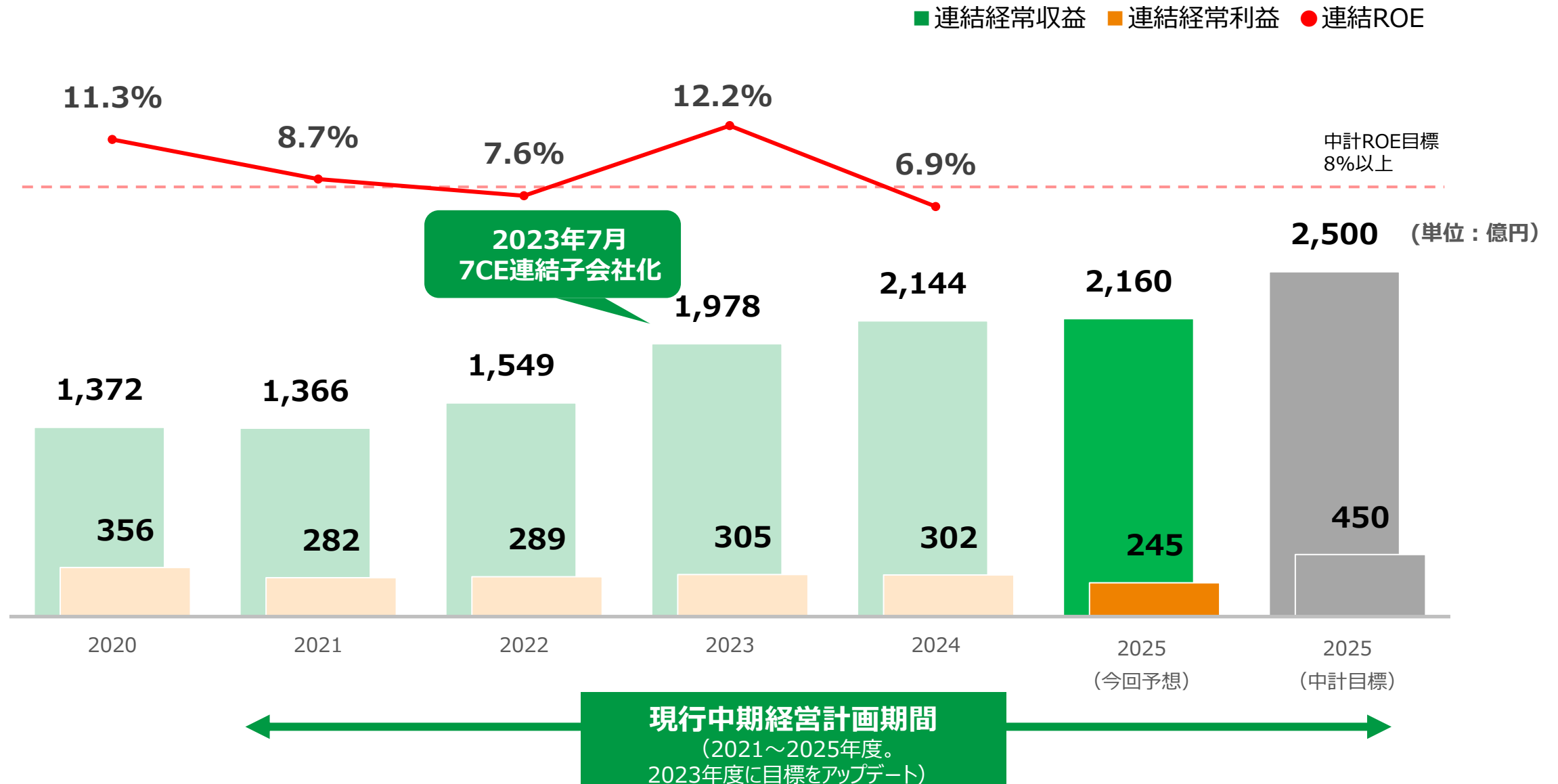
- ✓ 海外3か国での事業拡大
- ✓ マレーシアへの進出

企業変革推進への投資 9%

- ✓ AIやデータを活用した企業変革

etc...

収益・利益ともに中計目標は未達の見込みも、収益は着実に増加



2025年度は利益面を意識しつつ、持続的な成長に向けた取組みを継続

持続的な成長に向けて

強みを磨く

ATM事業（国内・海外）
質の向上・面の拡大

リテール事業（口座）
預金・ローン残高の積み上げ

未来への布石

リテール事業（クレジットカード）
利便性の訴求で収益拡大機会を創出

目指すべき事業ポートフォリオの検討
新規ビジネスの探索

成長戦略

国内ATM事業：質の向上と面の拡大を図り残存者利益の取り込みを最大化



質の向上

「+ Connect」を中心に独自サービスを強化

7 Connect
プラスコネクト

ATM窓口

ATMお知らせ

FACE CASH

25社以上と
提携合意

25社以上で採用

金利上昇への対策

キャッシュレス事業者とのチャージ取引が増加傾向
ATM機内現金を圧縮し、**現金調達コストを削減**



ATM機内
現金圧縮



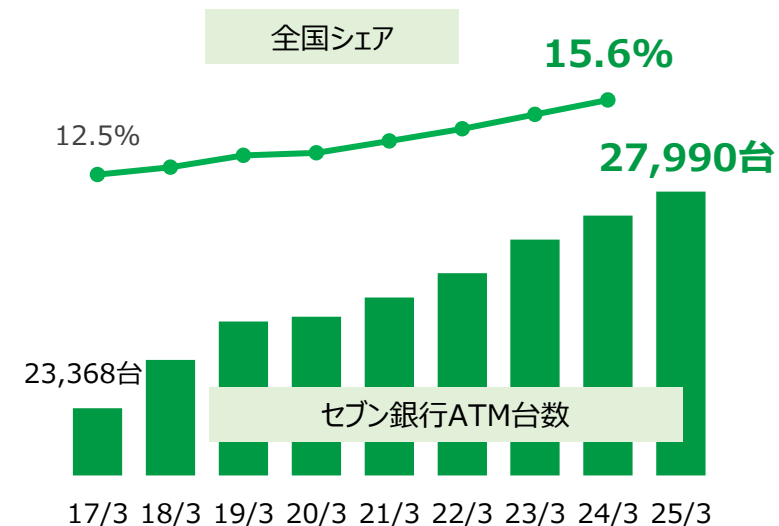
スマホATM

カードを使わず
スマホでATMから入出金



面の拡大

セブン銀行ATM台数と全国シェア推移



※全国シェアは、24年3月時点。
一般社団法人全国銀行協会作成の『決済統計年報』や、各行・各社開示資料をもとに当社で推定。

直近シェアは**15%以上**

さらなる台数拡大で圧倒的シェアの獲得へ

国内ATM事業：さらなる質の向上へ

■「FACE CASH」で顔認証という新たな顧客体験を創出

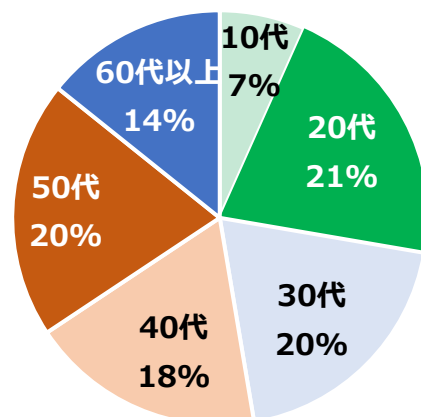


利用者分析（2025/2/6～3/31までの累計、セブン銀行取引のみ）

特徴

ユニバーサルUI/UXの実現

若年層だけでなく、幅広い世代でご利用
新たな金融体験と価値提供

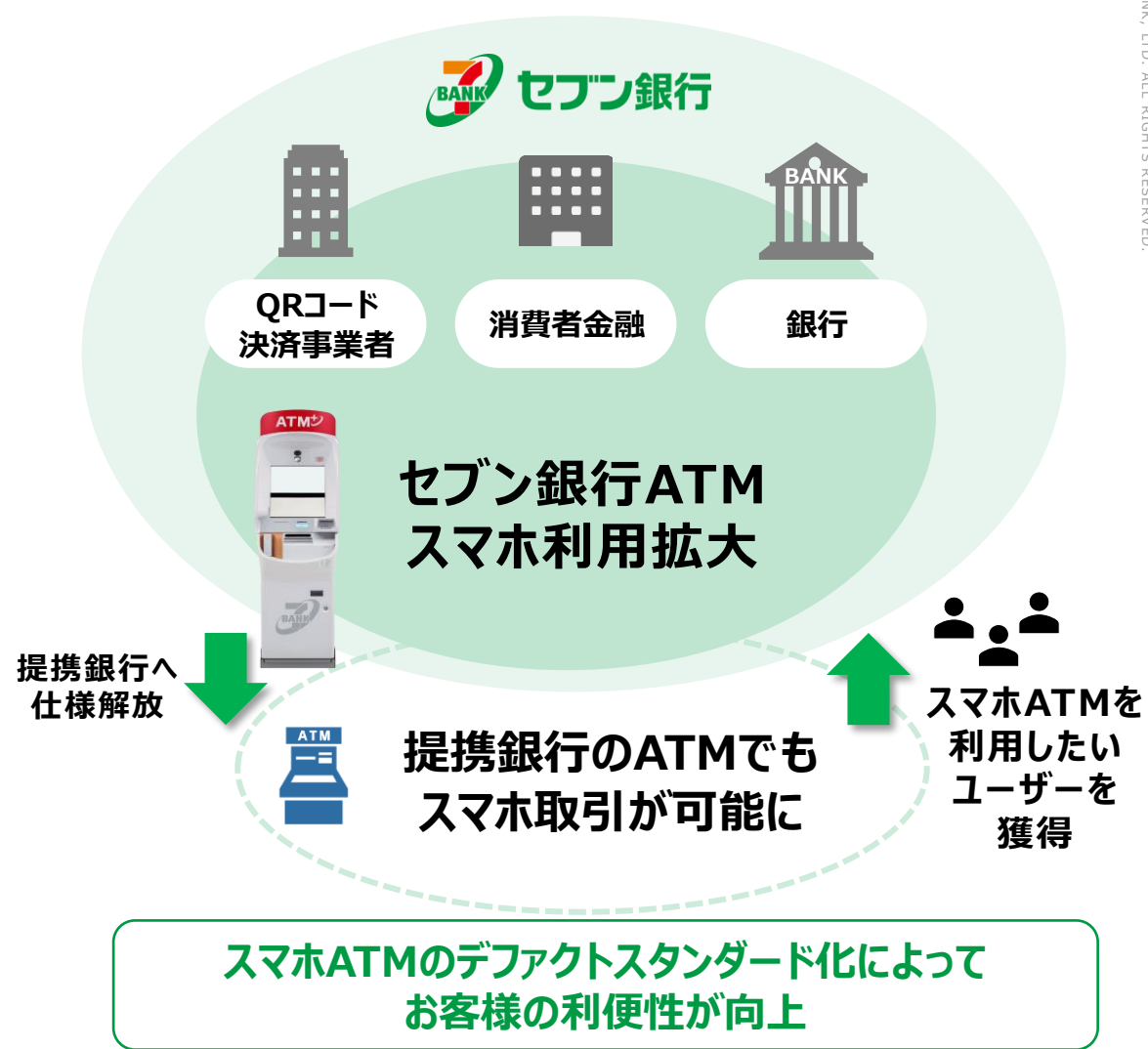


特徴

ATM、口座利用が高稼働

カード利用に比べ高稼働の傾向（速報値）
コアユーザーの獲得効果

■「スマホATM」が提携銀行(※)でも使える世界を実現



※当社の「スマホATM」の仕様を提供した提携銀行に限る

海外ATM事業：サービス多角化によって質を高め、海外事業のステータスを向上させる

米国



- ✓ 2025年度は通期黒字化見込み
- ✓ Speedwayへの設置拡大
- ✓ オペレーション効率化・コスト削減
- ✓ 大手デジタルウォレット事業者との協業検討

インドネシア



- ✓ ATM台数の拡大から平均利用件数の向上へ転換
- ✓ デジタルウォレット事業者等との提携による取引件数拡大
- ✓ 新サービス開発に向けて各行と調整開始



海外4か国で
2万台以上のATM
を展開

フィリピン



- ✓ 新規提携先拡大（ウォレット事業者等）
- ✓ セブン-イレブン外へも展開、
台数拡大ペースを加速
- ✓ 入金を含む新サービスの追加

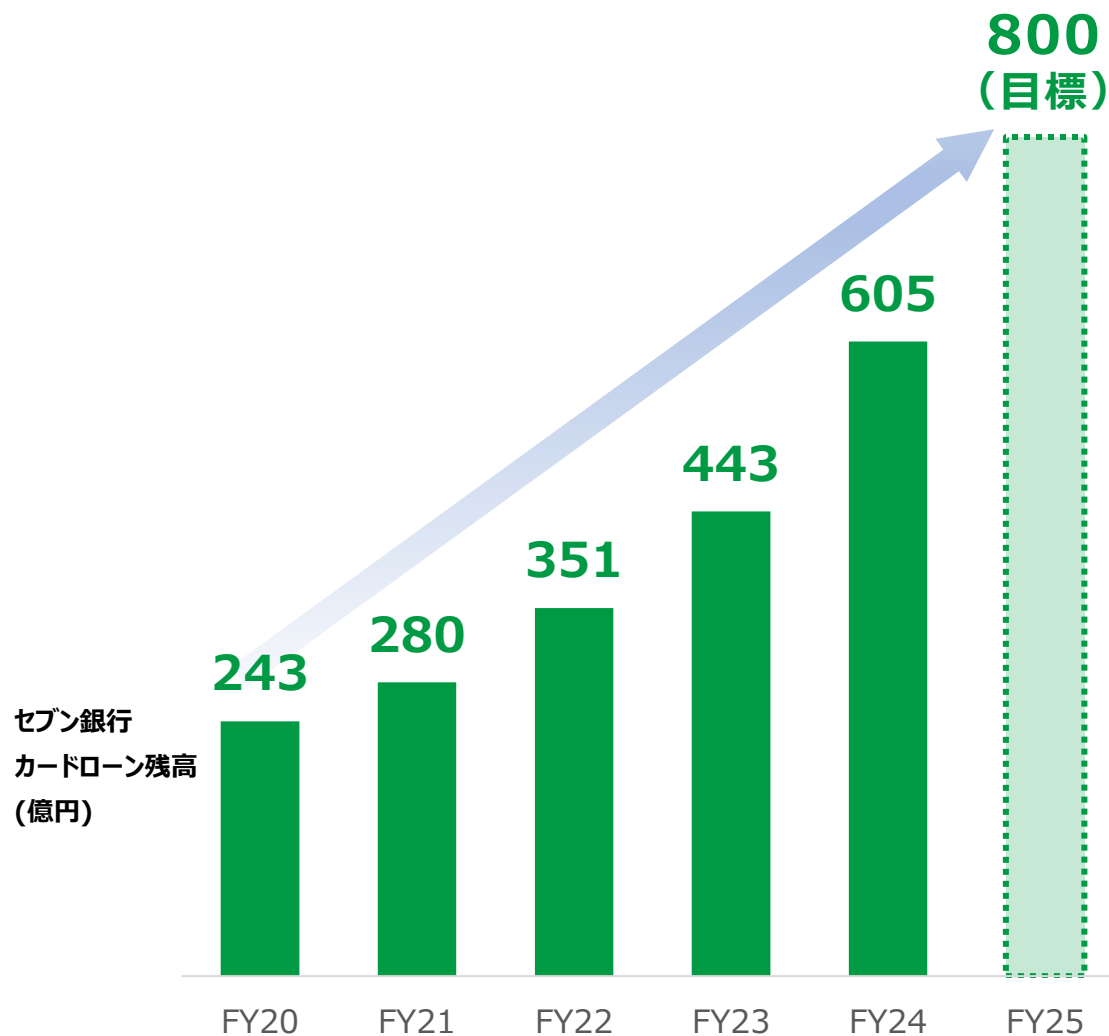
マレーシア



- ✓ 2025年前半までに入出金機100台
設置予定
- ✓ 3州のセブン-イレブンを中心に設置

リテール事業（口座）：カードローン残高のさらなる積み上げ

■ セブン銀行カードローンは順調に拡大



■ これまでの強みを活かしつつ、さらなる磨き上げを継続



スマホで簡単申込
最短翌日にお借入れ

原則24時間365日受付

全国28,000台以上のATMで
借入・返済手数料0円

さらなるサービスの磨き上げで残高増加を目指す

- ✓ デジタルマーケティング高度化による効率的な新規顧客獲得
- ✓ ATMお知らせ（+Connect）による既存顧客へのアップセル
- ✓ 買い物データ活用による与信高度化

リテール事業（クレジットカード）：2025年度も基本戦略は不変、会員獲得を継続



リテール事業（クレジットカード）：セブン-イレブン利用層の獲得により、カード利用率などに変化の兆しあり

セブン-イレブンご利用のお客さまを中心に新規会員を獲得

ファイナンスサービス利用へ

①新規会員獲得

②セブン-イレブン店舗
での利用率向上

③外部加盟店での
利用拡大

④ファイナンスサービスでの
収益化
(リボ・分割・キャッシング)



申込者数は計画未達も
若年層会員獲得
セブン-イレブン店頭での
協力体制構築を急ぐ

セブン-イレブン店舗での
利用率・平均利用額は
上昇

外部加盟店での利用額も
増加

分割払いの利用単価や
キャッシング利用率は増加

社会課題解決への貢献・企業変革

5つの重点課題を再策定：本業を通じた社会課題解決をさらに加速



根源的価値

いつでも安心・安全に使える社会インフラを提供する

- ・カードを使わずに取引ができる「スマホA T Mサービス」
- ・警察、公的機関、提携金融機関等との連携



社会的価値

誰でもどこでもアクセスできる多様なサービスを実現する

- ・ATMをあらゆる手続き・認証の窓口
- ・日本のノウハウを活かして、海外ATM事業の展開



新たな価値

お客さまの期待を超えたユニークな価値を創る

- ・顔認証入出金サービス「FACE CASH」
- ・セブン&アイグループ共通の会員基盤「7 i D」の活用
- ・タッチ決済対応の「セブンカード・プラス」の発行



価値創造の源泉

誰もが活躍できる社会づくりを進める

- ・D&I推進部会を立ち上げ
- ・EX10導入により全従業員がイノベーション活動へ



将来への価値創造

豊かな社会と地球の未来に貢献する

- ・「森の戦士ボノロン」絵本の発行・無料配布の取組み
- ・中高生向けの金融犯罪防止に関する講義を実施
- ・セブン銀行ATMでの募金受付サービスの提供

社員も会社もともに成長していく組織づくりでイノベーションを促進

社内活性化

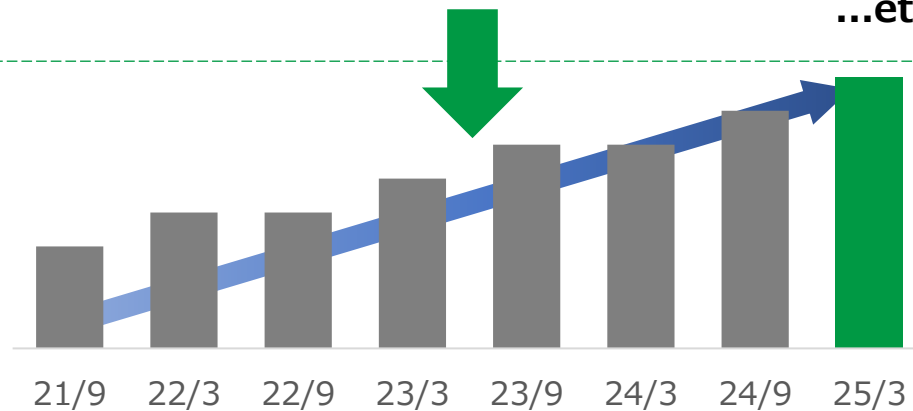
社内ビジネスコンテスト「LAYUP」



社内表彰「パーパスアワード」

企業変革プログラム
「SEVENBANK Academia」

...etc.



社員のエンゲージメントスコアは4年連続上昇

ビジネスモデル・業務プロセス変革

生成AI活用環境「7Bank-Brain」



ノーコード/ローコードで開発
「市民開発アプリ」

伴走型データ研修
「データサイエンスbootキャンプ」
...etc.

AI活用



収益増やコスト削減に
つながるユースケースの
創出



RPA開発

累計20業務超で
RPA開発
約27,000時間/年
の効率化効果創出

全社一丸でAI・データの活用に取り組む

株主還元方針

株主還元方針

基本方針

- 強固な財務基盤を背景に、配当中心の安定的・継続的な株主還元を実施
- 実額にも配慮しつつ、配当性向40%以上を維持

2026年3月期 配当予想

年間計画

11円

中間配当

1株あたり **5.50円**

期末配当

1株あたり **5.50円**

配当指標

配当性向

80.4%
(2026年3月期予想)

配当利回り

4.24%
(2026年3月期年間配当金予想
÷ 2025年5月2日終値)

セブン&アイ・ホールディングスは2025年度内のセブン銀行 非連結化を発表

AGENDA

05

APPENDIX

APPENDIX

損益計算書【連結】

(単位：億円)

	2024年 3月期	計画	2025年 3月期	前年差異	2026年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,978	2,150	2,144	166	2,160	16	1,060	△2
経常費用	1,673	1,870	1,841	168	1,915	74	930	35
経常利益	305	280	302	△3	245	△57	125	△42
特別損益	146	0	△14	△160	△5	9	△3	△3
親会社株主に帰属する 当期純利益	319	195	182	△137	160	△22	80	△29

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て
注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較
注3) 連結損益の為替レート
1米ドル 2024年3月期実績 140.67円、2025年3月期計画 149.00円、2025年3月期実績 151.69円、2026年3月期計画 146.00円

(単位：億円)

APPENDIX

損益計算書【セブン銀行単体】

	2024年 3月期	計画	2025年 3月期	前年差異	2026年3月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	1,288	1,335	1,357	69	1,400	43	695	6
うちATM受入手数料	1,110	1,135	1,134	24	1,150	16	575	6
経常費用	997	1,060	1,084	87	1,155	71	560	42
うち資金調達費用	2	5	11	9	25	14	11	8
うちATM設置支払手数料	175	180	177	2	181	4	90	1
うち業務委託費	269	255	265	△4	277	12	136	7
うち保守管理費	36	40	38	2	38	0	18	△1
うち減価償却費	186	240	231	45	251	20	121	12
経常利益	291	275	273	△18	245	△28	135	△36
特別損益	△15	0	△21	△6	△5	16	△3	△3
法人税等合計	82	85	74	△8	75	1	40	△11
当期純利益	193	190	176	△17	165	△11	90	△27
EBITDA	477	515	504	27	496	△8	256	△25
期末ATM設置台数 (台)	27,422	27,893	27,990	568	28,627	637	28,297	595
ATM受入手数料単価 (円)	109.3	108.7	106.5	△2.8	104.5	△2.0	105.3	△2.1
平均利用件数 (件/台/日)	105.0	105.8	108.0	3.0	108.6	0.6	108.5	0.8
総利用件数 (百万件)	1,039	1,066	1,089	50	1,122	33	559	17
海外送金サービス取引件数 (千件)	747	759	660	△87	693	33	333	5
デビットサービス取引件数 (千件)	20,800	24,419	22,782	1,982	29,632	6,850	13,600	2,401

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て 注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較 注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益+減価償却費

APPENDIX

損益計算書【セブン・カードサービス】

(単位：百万円)

	(ご参考) 2023年4月- 2024年3月 累計実績	2025年 3月期			2026年3月期 計画			
		計画	2025年 3月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	35,223	31,882	32,529	△2,694	29,560	△2,969	13,865	△956
うちクレジットカード事業	16,648	15,937	15,052	△1,596	14,594	△458	6,999	△367
うち電子マネー事業	18,575	15,944	17,476	△1,099	14,966	△2,510	6,866	△588
経常費用	31,022	32,687	29,834	△1,188	32,590	2,756	15,995	2,102
うちクレジットカード事業	14,502	18,289	16,208	1,706	19,792	3,584	9,586	2,408
うち電子マネー事業	16,520	14,397	13,625	△2,895	12,798	△827	6,409	△305
経常利益	4,200	△804	2,694	△1,506	△3,030	△5,724	△2,130	△3,058
純利益	△2,879	△558	830	3,709	△3,030	△3,860	△2,130	△2,944

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) セブン・カードサービス（以下、7CE）は、付与したポイントが失効した際に、失効したポイント分の金額を収益（ポイント失効益）として計上しております。2025年3月期に発生したポイント失効益のうち、一時的な事業に係るポイント失効益については「その他の特別利益」として1,057百万円計上いたしました。

注4) 7CEは、自社を取り巻く環境及び今後の業績の見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取り崩し、2025年3月期において、2,700百万円を法人税等調整額に計上いたしました。

(単位：百万米\$)

APPENDIX

損益計算書【FCTI単体】

	2023年 12月期	計画	2024年 12月期	前年差異	2025年12月期 計画			
					通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	189.1	204.7	177.7	△11.4	169.6	△8.1	83.0	△4.4
経常費用	203.0	207.6	180.7	△22.3	165.9	△14.8	80.2	△16.5
うち資金調達費用	43.9	33.0	32.7	△11.2	31.7	△1.0	15.3	△1.8
うちATM設置支払手数料	84.4	86.9	72.9	△11.5	63.6	△9.3	30.9	△8.5
うち業務委託費	16.9	22.9	20.9	4.0	16.2	△4.7	8.0	△3.8
うち保守管理費	17.1	17.4	17.7	0.6	18.1	0.4	8.8	△0.1
うち減価償却費	5.7	3.3	3.2	△2.5	4.0	0.8	1.4	△0.6
経常利益	△13.8	△2.9	△3.0	10.8	3.7	6.7	2.8	12.1
特別損益	△10.0	0	△0.1	9.9	0	0.1	0	0.1
当期純利益	△47.4	△2.9	△3.3	44.1	3.5	6.8	2.7	12.3
EBITDA	△8.1	0.4	0.1	8.2	7.7	7.8	4.2	11.5
期末ATM設置台数 (台)	8,602	8,616	8,332	△270	8,550	218	—	—
平均利用件数 (件/台/日)	49.3	47.9	47.2	△2.1	47.0	△0.2	—	—
総利用件数 (百万件)	155.4	162.5	147.0	△8.4	145.6	△1.4	—	—

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て

注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較

注3) 本資料におけるEBITDAは全て経常利益 + 減価償却費

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)



	2023年 12月期	2024年			2025年12月期 計画			
		計画	12月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	6,836	9,369	8,446	1,610	8,825	379	4,255	162
経常費用	6,029	8,132	7,510	1,481	7,735	225	3,825	129
経常利益	807	1,237	936	129	1,090	154	430	34
純利益	641	—	718	77	850	132	430	40

ATM台数（台）	7,959	10,120	9,312	1,353	9,937	625	—	—
----------	-------	--------	-------	-------	-------	-----	---	---

(単位：百万円)



	2023年 12月期	2024年			2025年12月期 計画			
		計画	12月期	前年差異	通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	5,346	7,575	8,151	2,805	9,155	1,004	4,205	387
経常費用	5,583	7,078	7,844	2,261	8,485	641	3,920	287
経常利益	△236	497	306	542	670	364	285	100
純利益	△160	—	207	367	500	293	215	75

ATM台数（台）	3,017	3,541	3,515	498	4,255	740	—	—
----------	-------	-------	-------	-----	-------	-----	---	---

注1) 為替レート

100インドネシアルピア 2023年12月期実績=0.922円、2024年12月期計画=0.917円、2024年12月期実績=0.956円、2025年12月期計画=0.883円
 1フィリピンペソ 2023年12月期実績=2.526円、2024年12月期計画=2.563円、2024年12月期実績=2.643円、2025年12月期計画=2.519円

注2) 本資料における前年差異及び前年比は全て表示単位で比較

APPENDIX

損益計算書【主要子会社】

(単位：百万円)

 セブン銀行の100%子会社 パンク・ビジネスファクトリー	2024年 3月期			2025年 3月期	前年差異	2026年3月期 計画			
		計画				通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	3,682	3,950		3,551	△131	3,785	234	1,815	61
経常費用	3,493	3,700		3,700	207	3,585	△115	1,780	△119
経常利益	189	250		△149	△338	200	349	35	179
純利益	492	—		△170	△662	170	340	30	193
 ACSion	2024年 3月期			2025年 3月期	前年差異	2026年3月期 計画			
		計画				通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	987	—		879	△108	950	71	425	△4
経常費用	984	—		920	△64	1,265	345	620	157
経常利益	2	—		△41	△43	△315	△274	△195	△162
純利益	△163	—		△437	△274	△315	122	△195	90
株式会社 セブン・ペイメントサービス セブン銀行100%子会社	2024年 3月期			2025年 3月期	前年差異	2026年3月期 計画			
		計画				通期	前年差異	上期	前年差異
経常収益	662	787		819	157	805	△14	385	16
経常費用	546	667		629	83	630	1	305	9
経常利益	116	119		190	74	175	△15	80	7
純利益	97	—		141	44	120	△21	60	△1

注1) 本資料における計数は全て表示単位未満切捨て 注2) 本資料における前年差異は全て表示単位で比較



本資料には、株式会社セブン銀行及びその連結子会社等の業績に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、具体的な歴史的事実を除き、本資料の作成時点において取得可能な情報に基づく予測等を基礎として記載されています。これらの記述のためには、一定の前提（仮定）を置いています。これらの記述及び前提（仮定）は主観的なものであり、かつ、様々なリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想等とは異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、システム障害、災害、犯罪、その他事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、本資料に含まれる当社及びその連結子会社等以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。なお、本資料に関する全ての著作権その他の権利は当社に属します。